科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2019GD19		
授業科目名	フィニッシュワーク		
授業時間数	90		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	通年
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	印刷会社のデザイン室で印刷物制作を担当した教員がポスター、ダイレクトメール等の様々な広告物の制作セオリーを演習課題を通じて指導する。また、ピクトグラム、シンボルマークの制作のポイントも学習しグラフィックデザインにおける造形の単純化の効果の研究、エレメントの制作の仕方や全体的なレイアウトの視線誘導効果を学び基本的なレイアウト力を身に着ける。
到達目標	マージンやグリッドを効果的に設定できるバランス感覚を養う。ジャンプ率を理解しイメージに合わせた的確な文字組を選択できるようになる。また、紙の質感を理解し表現に適切な用紙の選択ができる。カウンタースペースを理解し可読性の高い紙面構成を習得する。形の単純化とその展開方法を理解する。上記の理解を演習課題において習得しレイアウトの基礎を習得する。
授業計画	第1回線引き、定規の操作、カッターの使用方法を演習を通じて理解 道具の使用方法を学習
	第２回　　ハードカバー制作演習
	（紙の種類と製本の種類の理解）
	第３～４回　家紋デザイン（作図方法の理解）
	古来に伝わる比率の美しさの研究
	第５回　　カレンダーの作り方（マージンの効果と整列）
	マージンの効果と整列
	第６～８回　ダイレクトメールデザイン
	文字のジャンプ率への理解
	第９～１１回　ポスターデザイン
	琳派の特長の理解とポスターデザイン
	第１２～１４回　ピクトグラムデザイン
	形の単純化の効果について
	第１５～１６回　グリッドシステムを使用したポスター
	スイス式グリッドシステムの理解と応用
	第１７回～１８回　ロゴタイプデザイン
	イニシャルの造形表現テクニックについて
	第１９～２０回　花のマークデザイン
	シンボルマークの作り方の理解
	第２１～２２回　オリジナルシンボル作成（前2回の応用）
	第２２回　　ブランディングとネーミング方法
	ブランディングの効果についてとネーミングテクニックの理解
	第２３回　オリジナルブランド演習
	スクリーニングとアプリケーションツールについて学習
	第２４～２５回　オリジナルブランドシンボル制作
	デザイン管理システムの必要性の理解と注意
	第２６～２９回　アプリケーションデザイン
	ブランドグッズの展開方法の理解
	第３０回　オリジナルブランドプレゼンテーションと講評
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	制作した各個の課題評価点数での評価点（70%）、及び授業参加への積極性を重視する平常点（30%）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2019GD21		
授業科目名	広告デザインⅠ		
授業時間数	78		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	通年
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	広告代理店のクリエーティブ課で広告デザインを担当した教員が、広告デザインの媒体別基礎知識と企画書の作成とともに市場調査分析、ポジショニング、消費者リストアップ、ターゲットの設定、コンセプトメーキングからカンプの表現手法までを指導する。
到達目標	１）広告の基礎用語、基礎知識を学習し、企業・商品、社会背景、流行などの情報収集と分析、ターゲット設定、コンセプトメーキングを行い基礎的な企画書の作成法を修得する。２）広告の媒体の特徴を理解しコンセプトに基づいたビジュアル表現手法を修得する。
授業計画	第1回　新聞広告練習課題
	第2-4回　新聞広告全7段／企画書作成
	企業、商品、市場、社会の情報収集と分析結果からターゲットの設定とコンセプトを導き出しチェックリスト方式の企画書作成法を修得する。
	第5-7回　新聞広告全7段／アイデア出し
	コンセプトに基づいたアイデアの発想手法を身につける。
	第8-9回　新聞広告全7段／原寸ラフスケッチ
	各要素の優先順位、余白と黒の比率を原寸サイズでレイアウトする技術を修得する。
	第10-12回　新聞広告全7段／カンプ制作
	プレゼンテーションするためのカンプ制作の基礎技術を身につける。
	第12-13回　飲料水新商品企画デザイン／企画書作成
	商品企画、ネーミング、ロゴタイプ、ターゲット、コンセプト、企画意図をストーリー化し企画を文章化する能力を身につける。
	第14-16回　飲料水新商品企画デザイン／アイデア出し、カラーバリエーション展開
	3種類のシリーズ展開するマスとして陳列することを想定したアイデア出しの手法を修得する。
	第17-18回　飲料水新商品企画デザイン／ネーミング、ロゴ制作
	耳障り、視認性、可読性を理解しロゴタイプを考案する能力を身につける。
	第19-23回　飲料水新商品企画デザイン／カンプ制作
	プレゼンテーション用カンプをディスプレイカットとして表現する技術を修得する。
	第24回　飲料水新商品企画デザイン／製品力自己評価表作成
	企画デザインした新商品をイメージクライテリア・機能クライテリアの評価ワードをグラフ化、評価項目を採点し客観的なデータからデザインの評価することができる。
	第25-26回　飲料水新商品雑誌広告／アイデア出し
	雑誌広告の基礎的な用語と媒体の特長を理解し印象に残るワードやビジュアルを視覚化する手法を身につける。
	第27-28回　飲料水新商品雑誌広告／原寸ラフスケッチ
	新商品のコンセプトとストーリーを雑誌見開きの画面の中で各要素の導線を考慮し画面構成をする手法を修得する。
	第29-30回　飲料水新商品雑誌広告／カンプ制作

教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各課題における作品評価点（70%）、及び授業参加への積極性を重視する平常点（30%）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2019GD25		
授業科目名	DTP基礎		
授業時間数	90		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	通年
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	広告代理店の制作室でグラフィックソフトを使用し制作してきた教員が、マッキントッシュを使用しIllustratorとPhotoshopのアプリケーションソフトの基本操作法を印刷物制作課題の制作を通して指導する。
到達目標	PCを使用した印刷物制作を通じて、IllustratorとPhotoshopのアプリケーションの基本操作と2つのソフトの相互の関係性を理解し操作に関する基本技術を修得する。文字や画像の画面構成や配色、画像加工・補正の操作技能を理解して適切なビジュアル表現を身につける。
授業計画	第1回　アプリケーションソフトの主要ツール
	IllustratorとPhotoshopの主要ツールを学び、ベクタ形式とラスタ形式の描画の違いを理解する。
	第2～3回　基本操作
	Illustratorでの選択、図形の描画、変形等の基本操作を身につける。
	第4回　ペンツール
	Illustratorでのベジェ曲線生成やハンドル操作、塗りと線のカラー設定を身につける。
	第5～6回　平面構成１
	印刷物の制作工程を知り、フォーマット作成、文字入力・設定、図形作成、ファイル管理の操作法を身につける。
	第7回　ロゴ・地図の作成
	Illustratorでの塗りや線の設定を活かした図形作成方法を身につける。またレイヤー分けの利点を理解する。
	第8回　図形作成、文字設定の応用
	Illustratorでのパスファインダーによる効率のよい図形作成方法や字詰めや文字組みの設定方法を身につける。
	第9回　画像の加工
	Photoshopを使った画像変換方法を理解し、Illustratorでの画像の配置、マスクや切り抜きを修得する。
	第10～11回　平面構成２
	図形、画像、文字の素材をレイアウトし、基本的な印刷物の作成方法を修得する。
	第12回　画像処理基礎
	Photoshopの主要ツールを学習し、選択・切り抜き・合成等の変形や、描画モードによる画像加工の操作方法を身につける。
	第13～14回　平面構成３
	図形、画像、文字を用いた平面構成を通じてIllustratorとPhotoshopの操作法を反復で学習する。
	第15回　画像合成・加工
	Photoshopでの合成や加工の画像処理で、新しい素材を作り出す技術を修得する。
	第16回　画像補正・解像度
	Photoshopでの色調補正や解像度が、見栄えや画質に影響することを理解する。
	第17～19回　コラージュ制作

	各自で画像素材を準備しPhotoshopでの画像合成に取り組む。時間配分と完成度向上の必要性を理解する。
	第20～22回　誌面構成１
	誌面の構成要素やレイアウト上のルール・留意点を学ぶ。調整による印象や精度の違いを把握し、仕上げ工程の重要性を理解する。
	第23～24回　応用操作
	Illustratorのブレンドやグラデーション、Photoshopのフィルタやレイヤースタイル等の応用操作法を学習する。
	第25～26回　誌面構成２
	誌面の構成要素や段組み、文字の縦組み等の制作上のルールを復習し、素材の構成力を養う。
	第27回　　画像処理
	作品集制作に必要な要素や心構えを知り、素材準備等の段取りの重要性を理解する。
	第28～30回　PRリーフレット制作
	三つ折りのページネーションを学び、作成した課題や作品を素材に自己分析を通じてPRツールの構成力を身につける。
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	課題における作品評価点(70%)、及び授業参加への積極性を重視する平常点（30%）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2019GD33		
授業科目名	セールスプロモーションⅡ		
授業時間数	57		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	広告代理店においてクリエイティブディレクターとして広告の企画からマネージメントまでを担当した実務経験のある教員が、マーケティングからターゲットの分析、設定、チャート作成、企画書作成、プレゼンテーションまでの一連の流れを指導する。
到達目標	マーケティングの知識を学ぶと共に、その読み取りから分析力を養う。説得力のあるチャートの作成やプレゼンテーションテクニックを身に着けることで交渉力を養う。 現実を把握した効果的な販売促進計画とデザイン案の制作方法を習得する。
授業計画	第１回　マーケティングとSP、広告の違い、関連用語
	基礎的な業界用語としてのマーケティング関連用語を理解し習熟度を深める。
	第２回　SP計画の立て方／仮想雑貨店のSP／話題のSPを分析
	雑貨店を仮想の店舗としてセールスプロモーションの計画を立てた時の状況を分析する。
	第３回　プレゼンテーションとは／気になるSPの魅力をプレゼン
	自ら企画したセールスプロモーションを学生間でその魅力をプレゼンテーションし伝える力を養う。
	第４回　ターゲットから考えるSP／広告の企画書をコトバにしてみよう
	自らのセールスプロモーションをターゲット側から捉えることにより良い面と悪い面を文章化し確認する。
	第５回　効果測定について／広告の企画書の文章を分析してみよう
	マーケティングの検証作業として必要な効果測定について理解を深める。
	第６回　予算について／広告例からチャートを作ってみよう
	具体的なチャートを使用しクライアントに対して予算計上の交渉する力を養う。
	第７回　課題制作①商品の販売促進　表現制作および企画書の作成
	課題の実制作の中で表現方法や企画書のポイントを学ぶ。
	第８回　課題制作①プレゼンテーションと合評
	課題の実制作の中で学内発表をすることでプレゼンテーション力を養う。
	第９回　課題制作②店舗の販売促進　表現制作および企画書の作成
	課題実制作の中で店舗における販売促進の表現方法や企画力の向上を目指す。
	第10回　課題制作②No.プレゼンテーションと合評
	プレゼンテーション技術の向上を目指す。
	第11回　課題制作③サービスの販売促進　表現制作および企画書の作成
	流通やサービスにおける販売促進の表現方法や企画力の向上を目指す。
	第12回　課題制作③プレゼンテーションと合評
	学習した内容を反復することで定着させ実社会で話題のセールスプロモーションを学ぶ。
	第13回　課題制作④SNSでの販売促進表現制作および企画書の作成
	SNS実社会でを通じた話題のセールスプロモーションを学ぶ。

	第14回　課題制作④プレゼンテーションと合評
	プレゼンテーション技術の向上を目指すと共にSNS媒体の広告効果について検証する。
	第15－１６回　課題制作⑤クライアントを想定した企画書の作成
	これまでの演習で学んだことを活かし自ら企画を立案する提案力をつける。
	第17回ー１８回　課題制作⑤デザイン案制作
	第１９回　課題制作⑤プレゼンテーションと合評
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各課題におけるグループ毎のSP企画案評価点（８０％）及び授業参加への積極性を重視する平常点（２０％）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2019GD11		
授業科目名	セールスプロモーションⅠ		
授業時間数	36		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	広告代理店においてクリエイティブディレクターとして広告の企画からマネージメントまでを担当した実務経験のある教員が指導にあたる。ケーススタディからマーケティングの基礎知識、販売促進の基本を学ぶ。
到達目標	マーケティングの基礎的な知識を習得し、その読み取りからクライアントのニーズを把握した効果的なセールスプロモーションプランとデザイン案を演習を、通じて立案しマーケティングと販売促進の関係と効果の理解を深める。
授業計画	第1回　マーケティングとSP、広告の違い、関連用語
	第2回　SP計画の立て方／仮想雑貨店のSP／話題のSPを分析
	第3回　プレゼンテーションとは／気になるSPの魅力をプレゼン
	第4回　ターゲットから考えるSP／広告の企画書をコトバにする課題演習
	第5回　効果測定について／広告の企画書の文章を分析する
	第6回　予算について／広告例からチャートを作成
	第7-8回　課題制作①表現制作および企画書の作成
	第9回　課題制作①プレゼンテーションと合評
	第10-11回　課題制作②表現制作および企画書の作成
	第12回　課題制作②プレゼンテーションと合評
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各課題におけるグループ毎のSP企画案評価点（70%）、授業参加への積極性を重視する平常点（30%）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2019GD12		
授業科目名	コピー論		
授業時間数	12		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	前期
授業方法	講義		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	出版会社で編集長として勤務した教員が、その経験を活かして文章やの表現上の注意や表現方法を指導する。広告においてのコピーの重要性、必要性デザインとの関連性を認知させコピー制作の仕方について指導する。
到達目標	文章表現の基礎を土台に、広告コピーの知識や表現の多様性を学び、エンドユーザーに届く効果的なキャッチコピー、ボディコピーの必要性と作成の理解を深める。
授業計画	第１回　文章表現について
	第２回　気になるコピーを集めよう
	第３回　課題①自分にキャッチコピーをつけてみよう
	第４回　課題①プレゼンテーションと合評
	第５回　課題②自分のボディコピーを考えよう
	第６回　課題②プレゼンテーションと合評
	第７回　課題③好きな商品の商品コピーを考えよう
	第８回　課題③プレゼンテーションと合評
	第９回　課題④インタビューで友達コピーを作ろう
	第10回　課題④プレゼンテーションと合評
	第11回　これからの広告分野でのコピーの位置づけについて
	第12回　コピーワークを課題制作に生かす手法
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	定期試験（30%）各課題・小テストにおける点数での評価点（40%）、授業参加への積極性を重視する平常点（30%）により評価する。
備考	定期試験は100点満点の60点未満を再試験とする。

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2019GD13		
授業科目名	ビジネス概論		
授業時間数	12		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	中期
授業方法	講義		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	経営コンサルタントの実務経験のある教員が利益、集客、価格、などビジネスの仕組みを、各業界別の事例をもとに指導する。ビジネスの構造、流通の仕組み、利益構造の基礎的な知識を修得する。
到達目標	企業や店舗において売上・利益を上げる仕組みを知ることから始め、身近な各種業界における収益構造について、事例を参考に学習する。また、利益を上げるための企業の販促活動や広告の手法など、将来、企画・提案のできるデザイナーになるために知っておくべき事項について知識をつけ理解を深める。
授業計画	第1回/導入・「もうけ」のカラクリ
	第2回/集客と利益の増やし方
	第3回/激安店、カフェ、価格のつけ方
	第4回/輸出入、ネット、自動車業界
	第5回/旅行、飲食、ファッション業界
	第6回/小売、マッチングビジネス業界
	第7回/バーガー店、フリーペーパー他
	第8回/メガネ店、キーサービス店他
	第9回/エステ、テレショッピング他
	第10回/スポーツクラブ
	第11回/カラオケ店他
	第12回/経済の流れとデザインの関係について
教科書	担当教員において配布資料作成／講師参考資料：図解「お客には言えない儲けのカラクリ」永岡書店
成績評価方法	定期試験（80%）及び授業参加への積極性を重視する平常点（20%）により評価する。
備考	定期試験は100点満点の60点未満を再試験とする

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2019GD14		
授業科目名	タイポグラフィ		
授業時間数	72		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	広告代理店の制作部でグラフィックデザインを担当した教員がレタリング技能検定の指導する。また検定後は、文字のデザインの基礎からロゴタイプのデザインのバリエーション展開の実習を行う。
到達目標	視覚情報のデザインに欠かせない、文字造形を行うための基礎基本をレタリング検定などを通して学ぶ。オリジナルの文字造形課題やタイポグラフィ見本帳制作、タイポグラフィによるポスター制作などを通じて、多様な文字造形の実践を通してタイポグラフィの機能や表現・応用力を習得し、文字をとおして多様なイメージや意図、メッセージや個性を表現または選択できる技術と感覚を習得する。
授業計画	第1回　タイポ・レタリング導入
	第2回　レタリング検定導入
	第3～5回　レタリング過去問題実践
	第6回　レタリング検定模擬
	第7～9回　タイプフェイスAtoZ
	第10～11回　タイプフェイス・ロゴ制作
	第12回　書体の分類と選択およびレタリング（文字造形の基本）の復習
	第13回　グリッド、書体アレンジなど多様な文字造形によるロゴ制作
	第14回　文字の配置、見せ方の工夫によるロゴ制作
	第15回　文字に何かをプラスした表現によるロゴ制作
	第16～17回　より自由な文字表現の実践
	第18～24回　タイポグラフィによるポスターの制作（習作、ラフに2週、下書き、仕上げ2週）
教科書	書体サンプル集（国際文化カレッジ）
成績評価方法	各課題における作品評価点60%（前期評価でははレタリング検定の合否結果もその評価に反映される）及び授業参加への積極性を重視する平常点（40%）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2019GD15		
授業科目名	写真基礎		
授業時間数	72		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	写真スタジオで広告写真に携わった経験を持つ教員が、カメラの扱い方から写真の基礎知識・技術の指導を行う。
到達目標	カメラやスタジオ等の基本操作、写真の基礎知識、歴史を学び、どのような分野の撮影でも活用できるしっかりとした写真撮影に必要な知識の土台をつくる。また写真家の作品を紹介し、現実の世界を写真を通じてさらに高い観察力と表現力を修得する。
授業計画	第1回　写真はなぜ写るのか。
	第2～3回　露出
	第4～6回　露出補正
	第7～8回　レンズの種類と特性
	第9～10回　ピクチャーコントロール
	第11回　ミニテスト
	第12回　組写真
	第13回　入射光露出計の特性
	第14回　RZ6×7の基礎撮影
	第15-16回　スタジオ撮影（大型ストロボの基礎操作　ポートレート）
	第17-18回　スタジオ撮影（大型ストロボ　物撮り）　Photoshopでの画像処理
	第19-21回　35ミリフィルム一眼レフカメラでのリバーサル撮影
	第22-24回　組写真/キャプション　フィルム整理
教科書	カメラの教科書～基本からはじめる人のための写真の手引き～　岡嶋和幸著
成績評価方法	定期試験（20%）、各課題における作品評価点（30%）、及び授業参加への積極性を重視する平常点（50%）により評価する。
備考	定期試験は100点満点の60点未満を再試験とする

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2019GD16		
授業科目名	ドローイング		
授業時間数	90		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	通年
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	−		

シラバス

授業内容	鉛筆の削り方・描き方から始まり、練り消しによる消し方・描き方、対象物を用紙に入れ込む構図の取り方、紙質、画材の特徴を理解し、デッサンの基礎的知識と技術の修得する。対象物の観察する力に必要となる自然現象や人工的現象の知識を巡らせ、正確な描写技術とともに対象の存在感や空気感までを平面に定着する描く力を身につける。デッサン力を身につけた上で、短時間で形と構図を線の抑揚で描き表すクロッキーの力を身につける。
到達目標	１)デッサンの基礎的な知識と技術を身につける。２）対象物を取り巻く現象の法則を踏まえた観察力を養う。３）モチーフの素材による質感の描き分け技法を修得する。４）絵画的な解釈を学習する。立体感、空間表現、構図等の絵画技術を修得する。
授業計画	第1～2回　鉛筆の削り方／グレースケール
	第3～4回　石膏デッサン／立方体
	第5～7回　柔らかい紙素材のデッサン／ トイレットペーパー
	第8～10回　プラスチック素材のデッサン／りんご
	第11回　人物クロッキー1
	第12～14回　瓶＋紙の組モチーフのデッサン
	第15～17回　金属＋レンガの組モチーフのデッサン
	第18～20回　木の立方体 or かぼちゃ　着彩
	第21回　人物クロッキー2
	第22～30回　手のデッサン
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各課題における作品評価点(70%)、及び授業参加への積極性を重視する平常点（30%）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2019GD17		
授業科目名	知的財産概論		
授業時間数	12		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	中期
授業方法	講義		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	弁理士として知的財産業務に携わった経験を持つ教員が、知的財産の基礎知識と活用方法、対処方法について、様々な具体的事例をもとに講義する。
到達目標	本講義はデザイン業界はもとより社会的に重要とされている著作権、意匠権、商標権などの知的財産に関わる基礎的知識や活用方法を履修し、自らが制作した著作物や創作物の管理を円滑に行えるための基礎知識を履修する。また、自らが創作した著作物や創作物を模倣された場合の対処方法についても検討できる基礎知識を身につける。
授業計画	第1回/知的財産権について
	第2回/知的財産権法の意義と概要
	第3回/知的創造物についての権利
	第4回/営業上の標識についての権利
	第5回/権利者と権利侵害者
	第6-7回/商標調査ワークショップ①
	第8-9回/商標調査ワークショップ②
	第10回/意匠権・商標権の取得までの流れ
	第11回/権利を行使する方法
	第12回/定期試験の検証とアドバイス
	第6-7回/商標調査ワークショップ①
	第8-9回/商標調査ワークショップ②
	第10回/意匠権・商標権の取得までの流れ
	第11回/権利を行使する方法
	第12回/J-プラットパットの使用方法について
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	定期試験（70%）、及び授業参加への積極性を重視する平常点（30%）により評価する。
備考	定期試験は100点満点の60点未満を再試験とする。

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2019GD18		
授業科目名	造形演習		
授業時間数	36		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	前期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	－		

シラバス

授業内容	立方体を同一の型とし、異なる素材による質感、量感、立体感。存在感の違いを考察し、美意識の理論的思考を養う。同時に手仕事による職人的技術を修得し、仕上げ技術が美に影響する重要性を実技を理解する。
到達目標	「立方体とは何か？」という問いをベースに与えられた素材、及び各自任意に選択した素材で100ｍｍ×100ｍｍ×100ｍｍの立方体をつくることにより正確で的確な仕事によってもたらされる「美しさ」の経験から美意識を理解する。
授業計画	第1回　課題①制作時間3時間　ケント紙による立方体の制作
	第2回　課題②制作時間3時間程度　ケント紙とスチレンボードによる立方体の制作
	第3-4回　課題③制作時間6時間　段ボールを基本に任意に選択した板材の積層による立方体の制作
	第5回　課題④制作時間3時間　ケント紙8枚の噛み合せによる立方体の制作
	第6-7回　課題⑤制作時間6時間　線材（ストロー）の自由な積層による立方体の制作
	第8回　課題⑥制作時間3時間　ケント紙を任意の面長方形で切り取ったもの6枚の貼り合わせによる立方体の制作
	第9回　課題⑦　粒子材の集合による立方体の制作
	第10-12回　課題⑧制作時間9時間　任意に選択した素材を用いて自由な発想での立方体の制作
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各製図課題における作品評価点（70%）、及び授業参加への積極性を重視する平常点（30%）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2019GD20		
授業科目名	広告概論		
授業時間数	12		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	前期
授業方法	講義		
実務経験のある教員による授業科目	－		

シラバス

授業内容	様々な広告サンプルや事例を通じて広告媒体の展開方法を学ぶ。また、広告業界で使用されている専門用語を各ジャンルの事例や資料を通じて深く理解する。
到達目標	広告業界の流れや専門用語、広告心理、各媒体の特長を理解し、現代社会において効果的なデザイン提案ができる力を養う。また、様々なクリエイターを紹介することによりアイデアや表現の幅を広げるきっかけをつくる。
授業計画	第１回　　広告の役割
	第２回　　広告の種類
	第３回　　購買の心理と広告心理
	第４回　　心理に作用する広告の作り方
	第５回　　広告媒体の特長１（マスコミ４媒体）
	第６回　　広告媒体の特長２（SNSと交通広告、屋外広告等）
	第７回　　印刷について1（各印刷媒体の特性）
	第８回　　印刷について2（各印刷媒体の特性）
	第９回　　マーケティングについて（ペルソナマーケティング等）
	第10回　　ブランディングについて
	第１１回　校正について（文字校正記号など）
	第１2回　これからの広告業界とデザインの関係
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	定期試験・小テスト・レポートにおける点数での評価点（80%）、及び授業参加への積極性を重視する平常点（20%）により評価する。
備考	定期試験は100点満点の60点未満を再試験とする

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2019GD22		
授業科目名	現代デザイン史		
授業時間数	12		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	前期
授業方法	講義		
実務経験のある教員による授業科目	–		

シラバス

授業内容	現代グラフィックデザインの基礎的な用語、歴史、思想、運動、デザインスタイル、時代を代表する作者とその作品の知識を修得する。また過去の歴史が現在のグラフィックデザインに活用されている事例を学ぶことからデザインスタイルの応用力の理解を深める。デザインスタイルを用いて練習課題を制作し技術を身につける。
到達目標	１）グラフィックデザインの用語を中心に、デザイン運動、歴史、背景、デザイン様式、西洋と日本の代表的なデザイナーとその作品を理解し現代デザインの基礎的な知識を修得する。２）デザインの歴史が現在の社会の中でどのように広告や商品のデザインに活用されているのかを理解する。３）過去の歴史を理解することで自身の創作活動の表現手段の幅を身につける。
授業計画	第1回 遠近法、アナモルフォーシス、クアドラトゥーラ、トロンプルイユ
	第2回 錯視デザイン
	第3回 錯視を用いた練習課題
	第4回 アーツアンドクラフツ、アール・ヌーボー、アールデコ
	第5回 アール・ヌーボーまたはアールデコスタイルを用いた練習課題
	第6回 バウハウス、ダダ
	第7回 ポップアート、サイケデリックアート
	第8回 グラフィティアート、パンク、ポストモダン、グランジ
	第9回 日本のグラフィックデザインの歴史（広告史）1910～1970年代
	第10回 日本のグラフィックデザインの歴史（広告史）1970～1980年代
	第11回 日本のグラフィックデザインの歴史（広告史）1980年代～近年
	第12回 歴史に残る広告事例
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	定期試験（35%）、練習課題点（30%）、及び授業参加への積極性を重視する平常点（35%）により評価する。
備考	定期試験は100点満点の60点未満を再試験とする

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2019GD23		
授業科目名	ホームページ基礎		
授業時間数	90		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	通年
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	印刷会社の制作部でWebデザインを担当した教員が、その経験を生かしてHTMLマークアップによるインターネット上での情報発信技術とスタイルシート・コーディングによるウェブデザインの技法を指導する。
到達目標	Webサイト、インターネット、ワールド・ワイド・ウェブ（WWW）等のバックグランドで稼働する基本的な仕組みを把握する。また、Webサイト制作者としての基礎知識や用語の理解。HTMLとスタイルシート（CSS）のコーディング・ソースを理解する。レイアウト計画を立て、Dreamweaverによるスタイルシート（CSS）を使ったレイアウトを理解する。
授業計画	第1回／Webサイトの仕組み
	第2回／訪問者に優しいWebサイト作り
	第3回／ユーザビリティ、アクセシビリティ
	第4～5回／HTMLタグについて
	第6～8回／スタイルシート（CSS）について
	第9回／レイアウト計画
	第10回／スタイルシート（CSS）によるレイアウト-1
	第11回／スタイルシート（CSS）によるレイアウト-2
	第12回／スタイルシートによる複数のデザイン
	第13回／実技試験
	第14回／作成するホームページの構成を確認する
	第15回／Dreamweaverのセッティング
	第16回／文字とイメージの配置
	第17回／文字をフォーマットする
	第18回／デバイスに合わせたレイアウト調整
	第19回／ヘッダー部分をデザインする
	第20回／ナビゲーションバーをデザインする
	第21回／サイドバーをデザインする
	第22回／メインコンテンツをデザインする
	第23回／オリジナル・ウェブサイト
	第24～25回／jQuery（JavaScriptライブラリ）について
	第26回／FTPソフトの利用
	第27回／SEO（検索エンジン最適化）について
	第28回／HTML５、CSS３について
	第29～30回／グリッドシステムによるレイアウト
教科書	HTML5&CSS3ポケットリファレンス（技術評論社）
成績評価方法	各課題における作品評価点（８０％）及び授業参加への積極性を重視する平常点（２０％）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2019GD24		
授業科目名	ビジネス演習		
授業時間数	12		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	後期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	百貨店において、接客サービスに従事し、接遇指導の実績のある教員が、社会人としての基礎力を指導する。　第一印象から身だしなみ、正しい言葉遣いから、「話す」「聞く」等の表現を実践的に身に付け、公的な場面での好感のもてるマナーやコミュニケーション力を修得する。
到達目標	基本的なビジネスマナーを学び、日々のコミュニケーションを向上し、社会人として円滑な人間関係を築くための基礎力を身に付ける。
授業計画	第1回　ビジネスマナーとコミュニケーション
	第2回　基本動作と敬語について
	第3回　話し方（声のトーン・表情）　傾聴力（態度、相槌、オウム返し）
	第4回　電話応対について
	第5回　名刺交換と紹介のマナー
	第6回　面接対応（自己ＰＲ）
教科書	担当教員による配布資料作成
成績評価方法	テーマに沿った演習評価（７０％）及び、授業参加への積極性を重視する平常点（３０％）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2019GD26		
授業科目名	ベーシックデザイン		
授業時間数	72		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	－		

シラバス

授業内容	色彩検定に向けての学習と共に、色彩の基礎的な知識をアクリル絵の具による実技課題を通して、修得していく。色彩検定の基礎的な知識と職能的な知識を生かして、平面構成の図案の構成力、配色計画、アナログ技法の技術表現力を修得する。
到達目標	色の基礎知識を習得するための色彩検定取得と、その知識を生かしテーマに沿った色彩計画、平面構成力、画材による表現技法を修得する。
授業計画	第1回　色の分類と三属性
	第2回　混色
	第3回　光と色
	第4回　視覚構造
	第5回　照明・混色
	第6回　PCCS
	第7-8回　心理効果・視覚効果・知覚効果
	第9-10回　色彩調和
	第11回　地と図
	第12-13回　色彩効果
	第14回　色名
	第15-19回　色彩検定対策
	第20-24回　平面構成
教科書	文部科学省後援　ひとりで学べる色彩検定2・3級試験テキスト&問題集　第2版　（ナツメ社）
成績評価方法	各課題における作品評価点（50%）、色彩検定合否（10%）、及び授業参加への積極性を重視する平常点（40%）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2019GD27		
授業科目名	社会研究Ⅰ		
授業時間数	6		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	後期
授業方法	講義		
実務経験のある教員による授業科目	－		

シラバス

授業内容	働くことの意義、業界研究、自己分析を経て自己の社会的確立を目的とし、進路決定の基本となる考え方と就職活動の具体的方法を学ぶ。
到達目標	基本的な履歴書作成や添え状、お礼状の書き方、就職活動を行なう上で必要とされるマナーや礼儀作法を修得し、就職活動に向けて前向きに取り組む力を身に付ける。
授業計画	第1回　就職活動の流れと心得
	第2回　業界・企業研究について
	第3回　自己分析①
	第4回　自己分析②
	第5回　会社訪問とお礼状について
	第6回　今後の就職活動に向けて
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	定期試験（８０％）及び授業参加への積極性を重視する平常点（２０％）
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2019GD28		
授業科目名	修了制作		
授業時間数	192		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	後期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	広告の実務経験がある教員が、地域活性化と社会貢献を目標に自らテーマを求め、グラフィックデザインによる解決策を指導する。問題を提起し、解決策の企画立案から調査分析、デザイン制作、プレゼンテーションまでの広告の一連の流れを修得する。
到達目標	グラフィックデザインで地域活性化や社会貢献を目標に、企画を立案し、調査分析を元に企画書作成、広告媒体計画を経てデザイン制作、プレゼンテーションまで一連の流れを理解し、グラフィックデザインによる問題解決能力を修得する。
授業計画	第1-6回/ テーマの検討
	第7-18回/ 企画書作成
	第19-21回/ 広告媒体計画
	第22-51回/ 広告媒体デザイン制作
	第52-59回/ プレゼンテーション用企画書
	第60-64回/　プレゼンテーション
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	課題における作品評価点(60%)プレゼンテーション（10%）、及び授業参加への積極性を重視する平常点（30%）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2019GD29		
授業科目名	総合デザイン論		
授業時間数	24		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	前期・中期
授業方法	講義		
実務経験のある教員による授業科目	－		

シラバス

授業内容	多岐に渡るデザイン分野の各専門知識や技術を、各専門分野の講師陣からオムニバス形式により具体的実例を専門家の考え方や手法を理解する。
到達目標	建築、インテリア、芸術、グラフィック、ファッション、インターネット、ディレクションなど各デザイン分野の専門知識を広く理解し、視野の広い発想力を養う。
授業計画	第1回 栄養学について①自分の体をデザインしよう！
	第2回 広告写真について
	第3回 コミュニティデザインについて
	第4回 アートについて
	第5回 フォトコラージュについて
	第6回 スタイリングについて
	第7回 建築デザインについて
	第8回 アートディレクションについて
	第9回 彫刻について
	第10回 ファッションデザインについて
	第11回　第1回～10回までのレポート作成
	第12回 デザイン思考／アイデア出し、グループディスカッション
	第13回 デザイン思考／プレゼンテーション
	第14回 建築からプロダクトグラフィック多種に渡るデザインについて
	第15回 雑貨デザインについて
	第16回 商空間店舗デザインについて
	第17回 インテリアコーディネートについて
	第18回 Webデザインについて
	第19回 キャラクターデザインについて
	第20回 ファッションビジネスについて
	第21回 広告コピーについて
	第22回 栄養学について②食事とデザイン
	第23回 ファッションコーディネートについて
	第24回 第12回～23回までのレポート作成
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	受講レポート(70%)、及び授業参加への積極性を重視する平常点（30%）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2019GD32		
授業科目名	社会研究Ⅱ		
授業時間数	12		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	2年次	開講時期	前期
授業方法	講義		
実務経験のある教員による授業科目	－		

シラバス

授業内容	将来の職業への関心を更に深め、働く事の意義や構造について学ぶと同時に、社会におけるコミュニケーションのあり方を修得し、意欲的な人生設計への実現に向けた選択行動が取れるようになる事を目的とする。
到達目標	自分の将来像を具体的にイメージできるようになる為に、職業観、将来設計能力を養い、人間力、社会人基礎力を身に付ける。
授業計画	第1回　働く意味について考える
	第2回　筆記試験対策
	第3回　面接対策
	第4回　グループディスカッション対策①
	第5回　グループディスカッション対策②
	第6回　キャリアデザイン
	第7回　ライフプランの作成
	第8回　社会人に必要な基礎知識①
	第9回　社会人に必要な基礎知識②
	第10回　社会人に必要な基礎知識③
	第11回　人間関係とコミュニケーション
	第12回　キャリアデザインの評価
教科書	働く若者のハンドブック（熊本県雇用環境整備協会）
成績評価方法	定期試験（８０％）及び授業参加への積極性を重視する平常点（２０％）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2019GD34		
授業科目名	ホームページデザイン		
授業時間数	57		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	印刷会社の制作部でWebデザインを担当し制作した経験のある教員がその経験を生かして、HTMLマークアップによる情報の階層化をすることでプログラミングへの検索エンジン最適化をさせ、CSSコーディングによるウェブデザインのトレンドを踏襲しUI、UXを最適化することを指導する。
到達目標	インターネット上に情報を発信する際、検索エンジンへの最適化を図るためHTMLマークアップの階層化による構築と人間工学を踏まえたユーザーインターフェイスをCSSコーディングすることでデザインのトレンドを踏襲しながらウェブサイトデザインを学習する。
授業計画	第1回／HTMLの基本構造
	第2回／スタイルシートの外部リンク、リセット
	第3回／webデザインのトレンド解説・タイポグラフィ
	第4回／トレンドに基づいたWEBサイトの実制作
	第5回／webデザインのトレンド解説・流体シェイプ
	第6回／トレンドに基づいたWEBサイトの実制作
	第7回／webデザインのトレンド解説・ミニマルデザイン
	第8回／トレンドに基づいたWEBサイトの実制作
	第9回／webデザインのトレンド解説・マイクロインタラクション
	第10～11回／トレンドに基づいたWEBサイトの実制作
	第12回／webデザインのトレンド解説・グリッドデザイン
	第13～14回／トレンドに基づいたWEBサイトの実制作
	第15回／webデザインのトレンド解説・ノングリッドデザイン
	第16～17回／トレンドに基づいたWEBサイトの実制作
	第18回／webデザインのトレンド解説・フラットデザイン2.0
	第19回／トレンドに基づいたWEBサイトの実制作
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各課題における作品評価点（８０％）及び授業参加への積極性を重視する平常点（２０％）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2019GD35		
授業科目名	DTP演習		
授業時間数	57		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	－		

シラバス

授業内容	Macintoshを用いてIllustrator、Photoshop、InDesignの基本的操作と技術を修得する。雑誌の誌面、チラシ、パンフレットのデザイン制作を通して、文字の優先順位や可読性を理解し、素材のレイアウト、配色計画、デザインの素材制作の技術を、校正を繰り返しながら習熟する。
到達目標	1)Illustrator、Photoshop、InDesignの基礎的知識と操作技術を修得する。2）DTPによる広告物、誌面制作のデザイン技能を身につける。３）文字と画像、素材のレイアウト力と配色計画の技能を身につける。4)アイキャッチがあり一つの世界観としてまとまりがあるビジュアルデザイン力を養う。
授業計画	第1回　誌面レイアウト（雑誌見開き）
	第2-5回　取寄チラシレイアウト
	第6-9回　旅行チラシレイアウト
	第10-11回　残暑見舞いデザイン（DM）
	第12-14回　InDesignによる旅行チラシ
	第15-19回　InDesignによる誌面レイアウト
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各課題における作品評価点（70%）、及び授業参加への積極性を重視する平常点（30%）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2019GD36		
授業科目名	広告デザインⅡ		
授業時間数	57		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	広告代理店のクリエーティブ課で広告デザインを担当した教員が、交通広告、テレビCM、地域活性化のためのポスター制作を指導する。
到達目標	１）各広告媒体の特色を理解し、各広告媒体に効果的な表現手法を修得する。2）流通情報や社会背景を分析しターゲットとコンセプトを設定する力を身につける。3）コンセプトに基づいた広告訴求力を習得する。4）公共機関と連携した広告制作から依頼者や現地のニーズを分析する能力、デザインで解決する技術と経験を獲得する。
授業計画	第1-3回　市電マナーアップ広告ポスター／アイデア出し
	第4-6回　熊本法人会表紙制作
	第7-9回　市電マナーアップ広告ポスター／データ制作
	第10-11回　TVCM企画コンテ
	第12回　商店街ポスター展／オリエンテーション
	第13-14回　商店街ポスター展／取材
	第15-18回　商店街ポスター展／ポスター制作
	第19回　商店街ポスター展／ポスター展
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各課題における作品評価点（70%）、及び授業参加への積極性を重視する平常点（30%）により評価する。
備考	授業前後の取材、制作も評価の対象とする。

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2019GD37		
授業科目名	CIデザイン		
授業時間数	57		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	－		

シラバス

授業内容	ブランディングデザインの基本的な考え方であるCIデザインのプロセスを学習。演習課題や産学連携課題に取り組むことで社会におけるブランディングの位置づけや重要性を理解する。	
到達目標	コンセプトメイキング、コンセプトを踏まえたマークやシンボルの制作の仕方を理解する。 また、制作されたデザインの管理方法、展開方法を理解しブランディングの一連の流れを履修する。	
授業計画	第1回	名刺デザイン
	第2回	セルフブランディング（コンセプトメイキング）
	第3～５	セルフブランディング（シンボル制作）
	第６～８回	セルフブランディング（デザイン管理システム制作）
	第７～11回	セルフブランディング（アプリケーションデザイン制作）
	第１２回	セルフブランディング（プレゼンテーションと講評）
	第13回	企業からヒアリング
	第14回～18回	産学連携課題（ラフスケッチ、デザイン制作、シグネチュア、アプリケーション制作）
	第19回	産学連携課題（プレゼンテーションと講評）
教科書	担当教員において配布資料作成	
成績評価方法	各課題における作品評価点（８０％）及び授業参加への積極性を重視する平常点（２０％）により評価する。	
備考		

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2019GD38		
授業科目名	Ｗｅｂ演習		
授業時間数	57		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	Web制作業務に携わった経験を持つ教員がその経験を生かしてWebフレームワークに関する技術を指導する。
到達目標	Foundation Frameworkを基礎とした HTMLマークアップ、CSSコードやJavaScriptコードの汎用型の定型スクリプトをフレームワークとし、煩雑で手間がかかる単純なコーディングの部分をフレームワークに任せ、よりデザインに集中できるようスクリプト技術を学習する。
授業計画	第1回 Frameworkの考え方と世界のツール群
	第2回 Foundation Framework基礎
	第3回 Foundation Framework 初期設定とclassについて
	第4回 Foundation Framework コントロール系class
	第5回 Foundation Framework レイアウト系class
	第6回 Foundation Framework ナビゲーション系class
	第7回 Foundation Framework コンテナ系class
	第8回 デザイン模写(制作者のデザイン意図、ユーザー心理を考察する)
	第9-11回 疑似案件 デザイン制作(スマートフォンサイトの制作実践)
	第12回　オリジナルの汎用classの考え方
	第13回　Foundation.cssの構成とカスタマイズポイント
	第14回　IDを用いたページカスタマイズ概論
	第15回　デザイン模写(制作者のデザイン意図、ユーザー心理を考察する)
	第16回　CSS模写(CSS解析、設計のポイントを考察する)
	第17～19回 疑似案件 デザイン制作(レスポンシブサイトの制作実践)
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各課題における作品評価点（８０％）及び授業参加への積極性を重視する平常点（２０％）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2019GD39		
授業科目名	卒業制作		
授業時間数	375		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	2年次	開講時期	通年
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	広告媒体媒においてグラフィックデザイン制作の実務経験のある教員が指導にあたる。卒業制作は各自が自由に設定したテーマに対し、これまで習得してきたグラフィックデザイン領域に関する専門的な知識や、技術、感性、表現などを使い、これからの社会への問題提起・解決に向けての提案を行っていく。
到達目標	・これまでの広告分野、グラフィックデザイン分野等の視覚伝達デザイン領域における歴史的背景や流れが理解でき、それを基に、これからあるべき視覚伝達デザイン分野領域の姿を思索し、自身の考えとして論ずることができる。 ・現代もしくは未来社会に対して視覚伝達デザイン分野からの問題提起を行うことができ、問題解決のための具体的な提案を作成できる能力を習得する。
授業計画	第1回～2回　卒業制作概要の説明および制作スケジュールの設定。
	第3回～6回　事前調査・制作テーマの方向性の検討
	第7回～12回　本調査・情報整理・分析・テーマの決定
	第13回～14回　中間報告プレゼンテーション・講評
	第15回～30回　企画書制作
	第31回～32回　企画案プレゼンテーション・講評
	第33回～56回　デザイン案制作・デザインコンセプト・仕様決定・ラフスケッチによる検討
	第57回～58回　デザイン案中間報告プレゼンテーション・講評
	第59回～76回　デザイン制作
	第77回～79回　プレゼンテーション・講評
教科書	特に指定なし
成績評価方法	卒業制作作品評価点（７０％）プレゼンテーション（１０％）及び授業参加への積極性を重視する平常点（２０％）により評価
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2019GD40		
授業科目名	写真表現学		
授業時間数	57		
必修・選択の別	選択		
対象コース	写真デザイン		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	－		

シラバス

授業内容	写真スタジオで広告写真に携わった経験を持つ教員がその経験を生かして写真表現のツールになる撮影技術を身につけながら、独自の作家性を養い写真家としての作品制作の進め方や展示方法等を指導する。
到達目標	前期は指定した簡単な方法でテーマ決めから発表までを1周し、中期はさらに本格的に作品の内容や仕上げの質の向上、展示場所を想定し表現がつたわる空間づくりの考察を学習する。
授業計画	第1～2回　写真基礎復習　ストロボ撮影実技試験　RZ67接写の露出補正
	第3～5回　「模倣」作家の作品の分析　模倣した作品を制作する。
	第6回　「10枚の組写真」テーマを決め、作品のテイストやステートメントを考える。
	第7～9回「10枚の組写真」制作、再考、作品の入れ替えをくりかえし、質をあげる。
	第10～11回　「10枚の組写真」仕上げ/1週間ごとの学内個展を行う。
	※モノクロフィルム現像/デジタルRAW現像
	第12回　自主撮影のなかから、テーマの絞り込み。
	第13～14回　セレクト　プリントについて
	第15回　仕上げ　マット切り、額装等について
	第16回　作品の順番　作品応募などの取り扱いの注意点
	第17回　プロモーション
	第18回　作品の配送　展示場でのレイアウト　搬入/搬出方法　照明
	第19回　作品展示についての合評と展示終了後にすべきこと
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各課題における作品評価点（７０％）及び授業参加への積極性を重視する平常点（３０％）により評価する。
備考	授業前後の制作も評価の対象とする。（平常点への加算）

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2019GD41		
授業科目名	広告写真		
授業時間数	57		
必修・選択の別	選択		
対象コース	写真デザイン		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	広告業界で広告写真に携わった経験を持つ教員がその経験を生かして広告媒体における写真撮影方法と関連する機材の操作及び設定法の基本を指導し、広告業界におけるフォトグラファーの撮影技術を理解する。
到達目標	前期は写真技術の向上、中期に写真イメージ向上を中心に、広告写真の現場に必要な知識と技術を習得する。
授業計画	第1回 写真の基礎確認・平面複写ライティングとパースの取り方
	第2回 ストロボ1灯によるライティングの基礎
	第3回 自然光、レフの使い方（立体物とポートレイト基礎）
	第4回 2灯ライティングの基礎
	第5回 人物ポートレイト（キリヌキ、カクハン、全身、バストアップ）
	第6回 内観、外観
	第7回 料理写真、自然光とストロボ光
	第8回 料理、物撮りなどの集合写真
	第9回 ライティングの応用（キリヌキ、カゲイキ、白イキ）
	第10回 ライティングによる物撮り集合写真
	第11回 ライティングによる人物ポートレイトの基礎
	第12回 白い洋服での人物ライティング（キリヌキ、カゲイキ、白イキ）
	第13回 ライティングによる物撮りイメージフォト（化粧品）
	第14回 ライティングによる物撮りイメージフォト（料理）
	第15回 人物のイメージフォト（シチュエーションで表情を取り分ける）
	第16回 身近にあるもののイメージフォト
	第17回 人物イメージフォト（スタジオ編）
	第18回 人物イメージフォト（ロケ編）
	第19回 ファッションモデルイメージ撮影
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各課題における作品評価点（８０％）及び授業参加への積極性を重視する平常点（２０％）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2019GD42		
授業科目名	映像基礎		
授業時間数	57		
必修・選択の別	選択		
対象コース	写真デザイン		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	映像編集に携わった教員が、映像を撮影するためのカメラワークの操作方法とワークステーションの中で編集作業を行う映像制作の基本の工程をを指導し、実制作を交えて理解する。
到達目標	映像制作における専門知識を習得する。 また、放送規格、撮影・編集の基礎概念、制作に必要なソフトウェアを習得する。
授業計画	第1回 映像基礎講座1
	第2回 画像のデジタル化
	第3回 映像基礎講座2
	第4回 AdobePremiere基礎1
	第5回 AdobePremiere基礎2
	第6回 コマ撮り
	第7回 コマ撮り
	第8回～12回 撮影
	第13回 撮影素材～扱い方について
	第14回 アフターエフェクトの基本について
	第15-17回 Adobe AftterEffects基礎課題
	第18-19回 アフターエフェクトの応用、課題
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各課題における作品評価点（８０％）及び授業参加への積極性を重視する平常点（２０％）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2019GD43		
授業科目名	キャラクター演習		
授業時間数	57		
必修・選択の別	選択		
対象コース	マンガ・キャラクターデザイン		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	－		

シラバス

授業内容	マンガ制作及び、広くキャラクター制作に役に立つ発想法、ストーリーを俯瞰する視点で全体を把握しながらキャラクターの人格形成を考える手法を理解する。
到達目標	マンガ制作におけるキャラクターづくりを基本から学び、メインキャラクター、サブキャラクターの描き分け、キャラクターの性格表現・感情表現、ストーリーに沿ったキャラクター制作を課題を通して学習する。
授業計画	第1～2回　　マンガの歴史
	第2～3回　　年齢の描き分け
	第4～5回　　キャラクター設定①
	第6～7回　　キャラクター設定②
	第8～9回　　キャラクター設定③
	第10～11回　キャラクター設定④
	第11～12回　キャラクター設定⑤
	第13～14回　キャラクター設定⑥
	第14～15回　場面設定
	第16～19回　短編マンガ制作
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各課題における作品評価点（８０％）及び授業参加への積極性を重視する平常点（２０％）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2019GD44		
授業科目名	シナリオ演習		
授業時間数	57		
必修・選択の別	選択		
対象コース	マンガ・キャラクターデザイン		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	実際に月刊少年誌で連載の経験のある教員が、オリジナルの物語が描けるようにストーリーの構成力を繰り返し制作することで精度を高める技術を指導する。
到達目標	マンガ制作行程の添削を経て物語を描き上げることを目標とする。最終的に投稿に繋げていく。
授業計画	第1回　物語のイメージ確認　第1-11回　長編ネーム添削（同時進行）
	第2回　物語の構成の基本
	第3回　物語の基本　起承転結
	第4-5回　物語の発想　ヤマ場、オチ、キャラクター
	第6-7回　ネームの切り方　ページの振り分け、吹き出し、セリフ、コマの減らし方
	第8回　ネームの直し方　2コマ漫画
	第9回　ネームの直し方　4コマ漫画
	第10回　ページ数指定で短編ネーム制作
	第12回　短編ネーム提出添削
	第13-15回　ネームの切り方応用①　原作を元にネームを制作　第12-15回長編ネーム添削（同時進行）
	第16-18回　ネームの切り方応用②　キャラクター入れ替え　続編を考える
	第19回　長編ネーム制作
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各課題における作品評価点（８０％）及び授業参加への積極性を重視する平常点（２０％）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2019GD45		
授業科目名	マンガ演習		
授業時間数	57		
必修・選択の別	選択		
対象コース	マンガ・キャラクターデザイン		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	週刊漫画雑誌で連載を経験した教員が、マンガ制作の基本の４コマ漫画を制作することでコマ割りの効果的な表現方法や制作技術を指導する。
到達目標	漫画を描く上で基本となるキャラクターの描き方、漫画特有の道具の使い方を学び、前期・中期をかけて作品を仕上げて作品のクォリティを上げることを学習する。
授業計画	第1回/キャラクターデッサン　4コマ漫画ネーム作成
	第2回/動きをつけたキャラクターデッサン　4コマ漫画ネーム作成
	第3回/手足のパーツデッサン　4コマ漫画ネーム作成
	第4回/アオリとフカンのデッサン　4コマ漫画ネーム作成
	第5回/3種のパースについて　4コマ漫画ネーム作成
	第6回/キャラクターのペン入れ　4コマ漫画ネーム作成
	第7～12回/4コマ漫画ネーム作成
	第13～19回/4コマ漫画のデジタル原稿作成
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各課題における作品評価点（８０％）及び授業参加への積極性を重視する平常点（２０％）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2019GD46		
授業科目名	パッケージデザイン		
授業時間数	57		
必修・選択の別	選択		
対象コース	雑貨・パッケージデザイン		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	－		

シラバス

授業内容	平面を山折り谷折りすることで、立体を形成することを理解し、紙の質感、厚み、色の違いからデザイン制作の仕上がりの違いを理解する。パッケージと雑貨が必要とされるシーンをリアルに浮き上がらせ、デザインに定着させる能力を身につける。単に消費されるモノではなく、愛着を持たれリピートされるパッケージや雑貨を考え、企画書シートに魅力をアピールできる力を修得する。
到達目標	1）ニーズを分析し、ターゲット、コンセプトを設定し、企画からデザイン制作、プレゼンテーションまでを修得する。２）広告としてのパッケージ、所有される雑貨デザインを理解する。3）企画提案できるオリジナリティとデザインセンスを養う。
授業計画	第1-4回　ギフトボックスパッケージデザイン
	第5-12回　入浴剤雑貨デザイン
	第13-19回　オリジナル企画　雑貨またはパッケージのデザイン
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各課題における作品評価点（70%）、及び授業参加への積極性を重視する平常点（30%）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2019GD47		
授業科目名	ビジュアルデザイン		
授業時間数	57		
必修・選択の別	選択		
対象コース	雑貨・パッケージデザイン		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	－		

シラバス

授業内容	デザインを美しく見せる文字組みの基本や、論理的思考を磨く訓練を行う。また、実際の現場に近いプロセスでデザイン展開を身につける力を養うとともに卒業後、しなやかな感性を活かし過ごしていくための発想や、自立した社会人になるための考え方などを、デザインを通して育成する。
到達目標	1）論理的思考を理解し、パッケージに反映したビジュアルデザインする能力を身につける。2）実際の仕事の現場に近い過程を踏み、実社会での現場力を養う。3）柔軟な発想の源となる生き方や、自立した社会人になるための考え方をデザインを通してを身につけていく。
授業計画	第1回　就活への心持ち／ビジュアルカード
	第2回　ビジュアルカードの作成
	第3回　ビジュアルカードの作成
	第4-7回　菓子店のBrandeing　コンセプト立案・ロゴマーク
	第8-10回　菓子店のBrandeing　ロゴタイプ
	第11-12回　菓子店のBrandeing　包装紙
	第13-15回　菓子店のBrandeing　包装紙
	第16回　菓子店のBrandeing　印刷入稿データの制作方法
	第17-19回　菓子店のBrandeing　ショッピングバッグ
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各課題における作品評価点（８０％）、及び授業参加への積極性を重視する平常点（２０％）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2019GD48		
授業科目名	デザイン書道		
授業時間数	57		
必修・選択の別	選択		
対象コース	雑貨・パッケージデザイン		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	グラフィックデザイン分野でカリグラフィを専門分野として実績を積んだ教員が指導にあたる。パッケージデザインにおいてニーズの高いデザイン書道の基礎的な知識と技術を数多くの表現方法と実践課題を通して修得する。デジタル表現にない線の抑揚、自作の画材、広告やパッケージへの生かし方を実践的に習得し、デジタル時代に希少な表現の幅を広げます。
到達目標	1）広告、デザイン分野においてのデザイン書道の役割と効果を理解を深める。2）基礎的な技術、求められるイメージやコンセプトに合った表現方法等を学び、商品パッケージ、ラベル、ＣＤケース、装丁、ポスターなど実践的にデザインに活用する技法修得する。
授業計画	第1回　デザイン書道の理論　　定義
	第2回　デザイン書道実技基礎　用途に応じた表現方法　＜漢字・ひらがな＞
	第3回　デザイン書道実技基礎　用途に応じた表現方法　＜カタカナ・英文＞
	第4回　デザイン書道実技　デザイン力強化＜書の余白とトリミング＞
	第5回　デザイン書道実技　表現力強化＜割箸で書くリードコピー＞
	第6回　デザイン書道実技　実践課題＜商品ロゴ／和風ラベル＞
	第7回　デザイン書道実技　実践課題
	第8回　デザイン書道実技　実践課題＜商品ロゴ／洋風ラベル＞
	第9回　デザイン書道実技　実践課題＜商品ロゴ／洋風パッケージ＞
	第10回　パッケージ制作＜デザイン書道による　商品ロゴ制作＞
	第11回　パッケージ制作＜デザイン書道によるブランドロゴ制作＞
	第12回　デザイン書道実技　表現力強化＜アート書・テクスチャー制作＞
	第13回　デザイン書道実技　表現力強化＜アート書によるロゴ制作＞
	第14回　パッケージ制作＜アート書使用のＣＤケース・装丁デザイン制作＞
	第15回　パッケージ制作＜デザイン書使用の商品ラベルデザイン制作＞
	第16回　パッケージ制作＜デザイン書使用の手提げ袋デザイン制作＞
	第17回　パッケージ制作＜デザイン書道使用のダミー商品仕上・商品撮影＞
	第18回　デザイン書道実技　実践課題＜ポスタータイトル制作・デザイン仕上＞
	第19回　装丁デザイン制作＜アート書使用の装丁デザイン制作・撮影＞
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各課題における作品評価点（８０％）、及び授業参加への積極性を重視する平常点（２０％）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2019GD49		
授業科目名	広告演習		
授業時間数	36		
必修・選択の別	選択		
対象コース	広告デザイン		
開講年次	2年次	開講時期	前期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	広告制作、グラフィックデザイン制作に携わってきた教員が指導する。雑誌表紙デザイン、オリジナルロゴタイプデザイン、雑誌見開きデザイン、コラム、CDジャケットデザインなど印刷媒体のデザインを通じて実践的なレイアウト方法を学習する。
到達目標	レイアウト上の空間把握、文字の適正と効果、グリッドシステムの活用方法、写真と配色の関係、フィルタを使用した効果の使用方法の習得を目標とする。
授業計画	第１回　雑誌タイトルデザイン
	第２回　　雑誌表紙デザイン演習
	第３回　　雑誌表紙デザイン演習
	第４回　　CDジャケットデザイン１
	第５回　　CDジャケットデザイ２
	第６回　　CDジャケットデザイ３
	第７回　　雑誌見開きデザイン１
	第８回　　雑誌見開きデザイン２
	第９回　　コラムデザイン１
	第１０回　　コラムデザイン２
	第１１～12回　　ポスターデザイン
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各課題における作品評価点（８０％）及び授業参加への積極性を重視する平常点（２０％）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2019GD50		
授業科目名	Webデザイン		
授業時間数	78		
必修・選択の別	選択		
対象コース	広告デザイン		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	印刷会社の制作部でWebデザインを担当した経験のある教員がその経験を生かしてPHPフレームワークのWordPressを使用し、ウェブサイトを実制作しながらSEO、ウェブデザイン、コーディング（HTML、CSS、PHP）を指導する。
到達目標	ウェブサイトを運営するにあたって企画からクラアントと一緒に組み立てた後、クライアントだけで情報発信するための重要なツールとしてCMSに特化したPHPフレームワークWordPressがある。 実際にコンテンツを制作しWordPressでウェブサイトを運営することでフレームワークによるサイトの運営を学習する。
授業計画	第１回／Webサイト企画の基礎
	第２回／SEOの取り組みの基礎
	第３回／WordPressによるサイト運営
	第４～5回／目的・ビジョンの決定
	第6～7回／顧客ターゲットの設定
	第8～9回／コンテンツの検討
	第10～11回／ページ構成の検討
	第12回／プロトタイプ作成
	第13回／WordPress管理画面の使い方
	第14回／WordPressプラグインの使用
	第15回／PHPコーディングのカスタマイズ
	第16回／検索エンジンの仕組み
	第17回／検索エンジンに正しく判断させる
	第18回／実制作からローンチ（公開）
	第19回／検索結果の見直し
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各課題における作品評価点（８０％）及び授業参加への積極性を重視する平常点（２０％）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2019GD52		
授業科目名	オリジナルイラスト		
授業時間数	114		
必修・選択の別	選択		
対象コース	イラストレーション		
開講年次	2年次	開講時期	前期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	－		

シラバス

授業内容	様々なモチーフでイラストを描くことで技術やテイスト（作風）の幅を広げていく、また仕事として想定されるイラストマップ、キャラクターデザイン、立体物にプリントされる場合などで実習する。
到達目標	クライアントから依頼される様々なケースのイラスト表現に対応できるよう、オムニバス形式にて様々なイラストレーターから表現技法を学ぶ。
授業計画	第1回　画材や作家の紹介、イラストの歴史、アンケート、DVD（50分）
	第2-3回　作家研究（資料作成）
	第4回　作家研究（模写）・コンペ準備
	第5回　作家研究（講評）・コンペラフ
	第6回　コンペ（ラフチェック）
	第7-9回　コンペ（作画）
	第10-12回　コンペ（作画）・グループ展（テーマ絞り込み／DM準備）
	第13回　コンペ（作画）・グループ展準備
	第14回　グループ展ラフ
	第15-17回　グループ展（作画）
	第18回　グループ展（講評）（搬入）
	第19回　グループ展（搬出）
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各課題における作品評価点（８０％）及び授業参加への積極性を重視する平常点（２０％）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2019GD53		
授業科目名	テクニカルイラスト		
授業時間数	57		
必修・選択の別	選択		
対象コース	イラストレーション		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	出版業界、印刷業界でイラストレーターとして実績を積んできた教員が指導する。絵を描く上で大切な資料収集や作品のモチーフについての研究することでイラストレーションがどのように社会に関りを持ち貢献していくのか考察し、作品制作についてはコンペで発表し、鑑賞、批評することでオリジナリティを高めていくことを学習する。
到達目標	イラストレーションに必要な技術を身につける。新聞・雑誌広告、各種メディアへの応用・展開を意識したオリジナル表現を目指す。コンペティションに応募することで自らの力量を考察し、新たな視覚表現にも積極的にチャレンジする。グループ展ではテーマコンセプトを元にアイデアを独自に発展させ、創作する力を身につける。
授業計画	第1-4回　イラストマップ　インクや透明水彩をつかったイラストマップ
	第5-8回　イラストを使った雑誌の表紙　アクリル絵の具の空間イラスト
	第9回　キャラクターデザイン　2頭身3頭身
	第10-12回　キャラクターデザイン　キャラクターを使った本屋の紹介
	第12回　マグカップ　自分のイラストが立体的になったらどうなるか学ぶ。
	第13-14回　マグカップ　イラスト作成
	第15回　マグカップ　データ入稿
	第16-19回　デザイン書道　デザイン的な書道を学び、自分の作品に生かす。
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各課題における作品評価点（８０％）及び授業参加への積極性を重視する平常点（２０％）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2019GD54		
授業科目名	編集企画		
授業時間数	36		
必修・選択の別	選択		
対象コース	雑誌編集（エディター）		
開講年次	2年次	開講時期	前期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	出版社で編集長として勤務した教員がその経験を生かして雑誌紙面の企画を作るにあたって文章の表現力をまず身に付け、魅力ある紙面づくりはどのように企画されるのか指導する。
到達目標	編集の知識や表現方法、企画立案の方法を学ぶと共に、実際の取材や誌面作りができる技術を習得する。
授業計画	第１回　概論・文章表現の基礎
	第２回　文章の書き分けと表現方法
	第３回　企画の立て方
	第４回　企画書の書き方
	第５回　POP作りは編集力
	第６回　取材のし方・インタビューのコツ
	第７回　インタビュー原稿の書き方
	第８回　校正の基本とチラシ作り
	第９回　チラシ作り
	第10-11回　実践取材と紙面づくり
	第12回　紙面プレゼンテーションと講評
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各課題における作品評価点（８０％）及び授業参加への積極性を重視する平常点（２０％）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2019GD55		
授業科目名	広告写真		
授業時間数	57		
必修・選択の別	選択		
対象コース	雑誌編集（エディター）		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	広告業界で広告写真に携わった経験を持つ教員がその経験を生かして広告媒体における写真撮影方法と関連する機材の操作及び設定法の基本を指導し、広告業界におけるフォトグラファーの撮影技術を理解する。
到達目標	前期は写真技術の向上、中期に写真イメージ向上を中心に、広告写真の現場に必要な知識と技術を習得する。
授業計画	第1回 写真の基礎確認・平面複写ライティングとパースの取り方
	第2回 ストロボ1灯によるライティングの基礎
	第3回 自然光、レフの使い方（立体物とポートレイト基礎）
	第4回 2灯ライティングの基礎
	第5回 人物ポートレイト（キリヌキ、カクハン、全身、バストアップ）
	第6回 内観、外観
	第7回 料理写真、自然光とストロボ光
	第8回 料理、物撮りなどの集合写真
	第9回 ライティングの応用（キリヌキ、カゲイキ、白イキ）
	第10回 ライティングによる物撮り集合写真
	第11回 ライティングによる人物ポートレイトの基礎
	第12回 白い洋服での人物ライティング（キリヌキ、カゲイキ、白イキ）
	第13回 ライティングによる物撮りイメージフォト（化粧品）
	第14回 ライティングによる物撮りイメージフォト（料理）
	第15回 人物のイメージフォト（シチュエーションで表情を取り分ける）
	第16回 身近にあるもののイメージフォト
	第17回 人物イメージフォト（スタジオ編）
	第18回 人物イメージフォト（ロケ編）
	第19回 ファッションモデルイメージ撮影（スタジオ編）
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各課題における作品評価点（８０％）及び授業参加への積極性を重視する平常点（２０％）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2019GD56		
授業科目名	エディトリアルデザイン		
授業時間数	78		
必修・選択の別	選択		
対象コース	雑誌編集（エディター）		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	－		

シラバス

授業内容	雑誌表紙デザイン、オリジナルロゴタイプデザイン、雑誌見開きデザイン、コラム、CDジャケットデザインなど印刷媒体のデザアインを通じて実践的なレイアウト方法を学習する。その後、高校生を対象とした印刷物を企画立案、取材、印刷入稿までを実施し履修した学びの確認を行う。
到達目標	取材、撮影、記事おこし、校正、データ管理、入稿など実際に体験することで雑誌編集の流れや制作のポイントを理解する。
授業計画	第１回　雑誌タイトルデザイン
	第２回　雑誌表紙デザイン演習
	第３回　雑誌表紙デザイン演習
	第４回　CDジャケットデザイン１
	第５回　CDジャケットデザイ２
	第６回　CDジャケットデザイ３
	第７回　雑誌見開きデザイン１
	第８回　雑誌見開きデザイン２
	第９回　コラムデザイン１
	第10回　コラムデザイン２
	第11～12回　ポスターデザイン
	第13回　編集会議
	第14回　先割デザイン
	第15回　取材、撮影
	第16回　記事おこしとデータ制作
	第17～18回　データ制作と校正
	第19回　印刷入稿について
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各課題における作品評価点（60%）及び授業参加への積極性を重視する平常点（40%）により評価する。
備考	